

三日 日刊 磐城時報

六千號を迎えて

吾が磐城時報が六千號を迎え... 三月三日平町長青沼... 太郎氏を始め多数各位から過... 分の祝辭を寄せられた事は感... 激の至りである。私は決して... 此の光榮の日に際し萬分交... 々追つて謝する所以の迄を知... らない。敢てこの一文を草し... て、今日まで直接間接に私等... に對して萬分謝の勞を執ら... れし各位の鴻恩に應えんとす... るのである。故土屋寛氏が... 石城地方最初の新聞紙として... 磐城時報を創刊以來實に二十... 年の歳月を閲した。大正七年... 佐藤作平氏の經營に移る。私... は大正十一年佐藤作平氏の許... に入りその懇切なる指導を蒙... をうけて今日に至つてゐる。

珍品問題表面化する

昨町會に鈴木幸氏質問... 進言書提出の武藤氏から... 四倉署真相聴取

昨報(前四倉署事務所長土木中にある某職員其他にははか... 技術員澤清四郎氏をめぐり三日前に狼狽し目下秘かにのみ消し... 團問題は町民有志の進言書提出に於て進言書提出の武藤氏... に依り愈々表面化する。昨日の町會に於て町會議員等の態度が... 町會にて町會議員鈴木幸次郎氏に不眞面目であつた爲町民... を河北新聞に掲載された記事は非常に憤慨し近頃町民大會... を議場に於て朗讀質問せしめたため關係に徹底的に事件の真相... 果敢波瀾を巻き起した。進言書提出の武藤氏... 書提出の責任者と見られてゐる。四倉署の取調に對し確實なる... 武藤氏は二日夜四倉署事務所を離れて居る旨を申述べた... 根本署長は取調を受けたが三つ云ふから事件は取調の進むに... 日午前九時頃町會議員鈴木幸次郎氏以外に他の職員が暴露され... 郎氏も暴露人として根本署長の機嫌である。

鹿島、豊間、江名、山林焦土と化する

烈風中の昨午後一時... またく下藏持から發火

昨二日午後一時頃突如鹿島村後七時頃江名山附近まで焼燬... 大字下藏持地内山林から發火折がつて遂に鎮火した。損害原因... 納の烈風に曝し間に山林中に燃等不明、平署で調査を進めてゐ... え廣がり地鹿島村を始め附近が去昭和四年正月の大火のも... 町村消防組員總出動で消防に努下藏持地内から發火したもので... けた。及ばず豊間、江名方面の殆んど隣接山林の全部が此の大... 山林まで焼移り同地一帯の山林火で焦土となつた爲地元部落... 自修町歩を焦土と化して同日午氏は植樹を奨励して復活に努め

磐成六千號

平町長 青沼鋒太郎

若くして去つた異才土屋知... 美君が、大正四年に礎石を置... いてから磐城時報が今日の地... 歩を固めるまで風雨貫に二十... 年、旬刊であつた當初も當町... には事業企劃の草創であつた... だけに幾多の起伏波瀾の險難... を歩み來つた過去を軌道を行... むては感慨極めて無量なるも... のがあらう。些々たる一小商

石城喇酒會

十八日から... 湯本町が 温泉復活 委員を擧げて

石城酒造組合では来る十八日か... 三日間平野署署樓上に於いて... 喇酒會を開催するが、十八、十... 九兩日鑑査、二十日入賞者の表... 形式を行ふ。

平豫算委員會

大体原案支持

平町の豫算委員會は三日引... 決まらぬに際し、入山、炭礦の... 續き午前十時から町會議室に於... いて開各款項に亘つて詳細研... 討を進め正午一先閉會、午後六... 時再會委員會案を作製した上五... 日の本會議に臨む筈である。尚... 委員會の空氣は大體に於いて多... 数である。

驛前を徘徊する青年

十余件の窃盜を自白

昨日夜平野署附近を徘徊して... る舉動不審の青年があるのを... 密行中の平署員が発見本署に拘... 獄の上嚴重取調した。此の青年... 平は當時住所不定無職山形市白... 川町高橋藤藏長男三右衛門一... 九名を稱し昨二日午前十一時... 頃平野署待合室で同町杉平田十... 三、所有の風呂敷包代三圓、同警... 中列車通學生堀江介藏所有乗道... 着二着を窃取した旨自白したが... 此の他郷山形市に居た去徳正... 二日市に某果店から現金三十... 圓外果服代二十餘圓分を窃取... して來たもので余罪も頗る多い... 見込。

磐中卒業式

磐城中學 第三十四回卒業證書授與式は... 来る七日午前十時から舉行す... 分取扱成績左の如し。 四倉驛二月... 貨物發送八千九百九十五噸、到... 着二萬二千八百八十七噸、賃金... 二萬七千六百八十四圓九十九... 錢、乗車一萬〇九百九十七人、... 降車一萬〇七百九十九人、賃... 金二千九百七十四圓八十二錢、... 手荷物發送三百三十五個、到... 着三百三十五個、小荷物發送

聯合青年團

第三分部總會

石城郡聯合青年團第三分部總會... は四日午前九時半から取樂館に... 開催する。 大浦校入學兒童 大浦村昭和... 九年度新入學兒童數は三十四名... にして男五十八名、女十六名... である。

湯本町が 温泉復活 委員を擧げて

湯本町で温泉郷湯本再興を期し... 温泉復活委員會を組織復役を努め... てゐるが更に今年中に再興を目... 標として町が...

吉野家の五郎... 口吉野家の五郎... のこのよきでは相當なもの、... 暫く見ない間にい、い、い、い... になつたものぢや... 誰かが褒めてゐたぢや、... 上手になつたぢや、... かなは開... き溜らしたぢや...

祝 六千 號

平製氷株式會社 社長 松本清一郎 専務取締役 松本一郎 平町長 青沼鋒太郎 平製氷株式會社

祝 六 千 號



磐城炭礦株式會社鑛業所
所長 菅原萬次郎

入山採炭株式會社坑務所

所長 吉田宗雄



磐城セメント株式會社四倉工業所



古河鑛業株式會社好間鑛業所

所長 工學博士 下野十朗

小田炭礦萩原鑛業部

萩原申八

好間元山炭礦

隅田川炭礦

礦主 小田吉治

津川炭礦

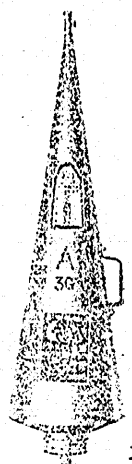
平澤察果
横山宗延

木村清治

新 安 盛

小野晋平

山崎合名會社



特許二億萬圓消火器福島縣下一手特約店

平町南町(警察署通角)

泉屋大嶺商會

電話一九七番